

保護者の皆様
関係者の皆様

東久留米市立第十小学校
校長 古矢 美雪

令和3年度 学校評価保護者アンケート・児童アンケート集計結果

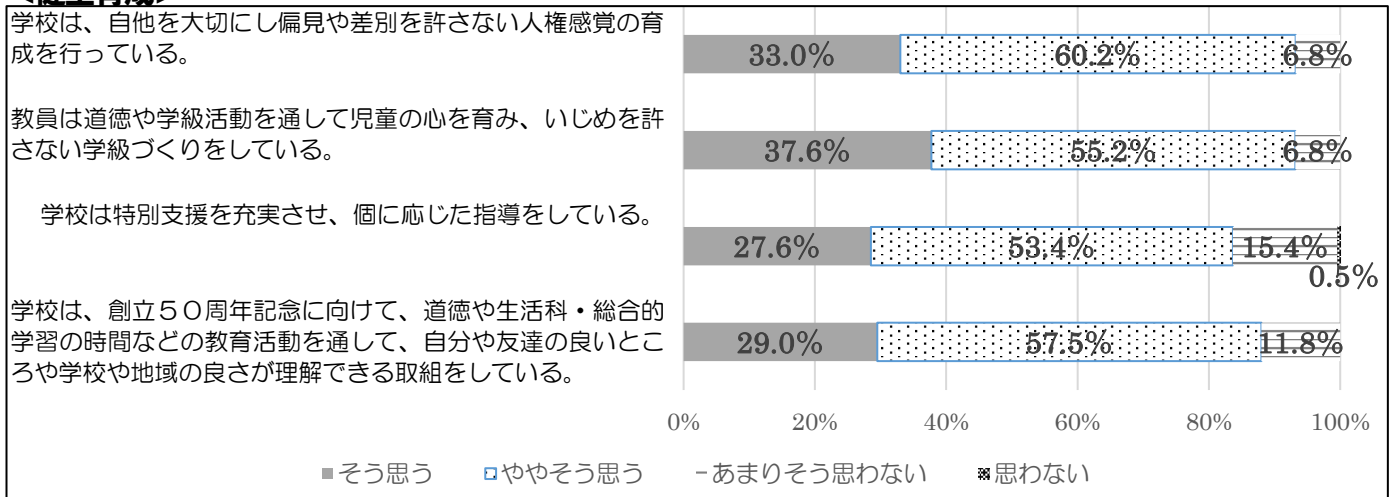
本日終業式が行われ、2学期の教育活動を無事に終えることができました。皆様におかれましては、ご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、2学期末に行われました保護者会の際には、アンケートにご協力いただきましてありがとうございました。回収率が昨年度よりも5.6ポイント上がり、9割以上の保護者の皆様にご協力をいただいたこと大変感謝申し上げます。

同じく2学期末に実施しました児童アンケートと合わせて結果を集計いたしましたので、ご報告いたします。今後の学校教育の一層の充実に向けて活かしてまいりますので、よろしくお願いいたします。

—令和3年度学校評価保護者アンケート結果—（回収率93.6%）

<健全育成>



4項目の平均では、88.4%の方から肯定的な回答をいただきました。

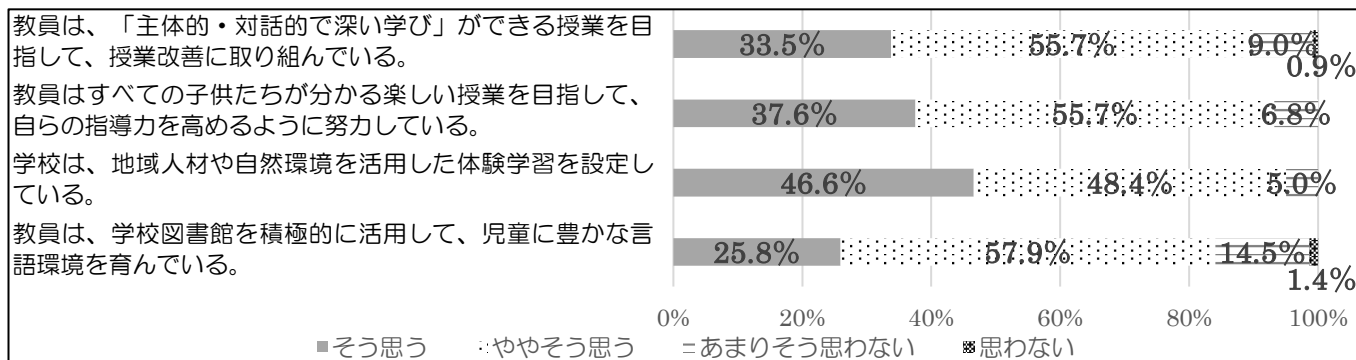
<人権感覚の育成>の項目では、93.2%の方から肯定的な回答をいただきました。昨年度同様、高ポイントを維持させていただいています。今後とも全教育活動を通して、児童に人権感覚の精神を正しく理解させるとともに、自他の良さを認め、他を深く思いやり健康で明るく心豊かな児童の育成に努めてまいります。

<いじめをゆるさない学級づくり>の項目では92.8%の方から肯定的な回答をいただきました。昨年度同様、高ポイントを維持させていただいています。しかし、6.8%の方からは不十分であるという回答をいただいていることを踏まえ、引き続き「誰にとっても居場所があり、誰にとっても居心地のよい学校・学級」を目指し、いじめの未然防止・早期発見に努めてまいります。

<特別支援の充実>の項目では81%の方から肯定的な回答をいただきました。比較的高ポイントの評価をいただきました。しかしまだ15.9%の方からは不十分であるという回答をいただいています。引き続き、どの子にとっても分かりやすい「ユニバーサルデザインの授業」を目指しつつ、特別支援教育専門員、あすなる教室、スクールカウンセラー、各関係機関と連携しながら十小の特別支援教育を進めてまいります。

<創立50周年に向けての取り組み>の項目では86.5%の方から肯定的な回答をいただきました。本校では来年度の創立50周年記念に向けて、道徳や生活科、総合的な学習時間などの教育活動を通して学校や地域の良さを理解できるような取り組みをしています。道徳では友達の良いところを中心に、生活科や総合的な学習の時間などの教科学習では、体験的な学習を取り入れながら、地域の良さが分かるような教育活動を進めてまいります。

<学力向上>



4項目の平均では、90.3%の方から肯定的な回答をいただきました。

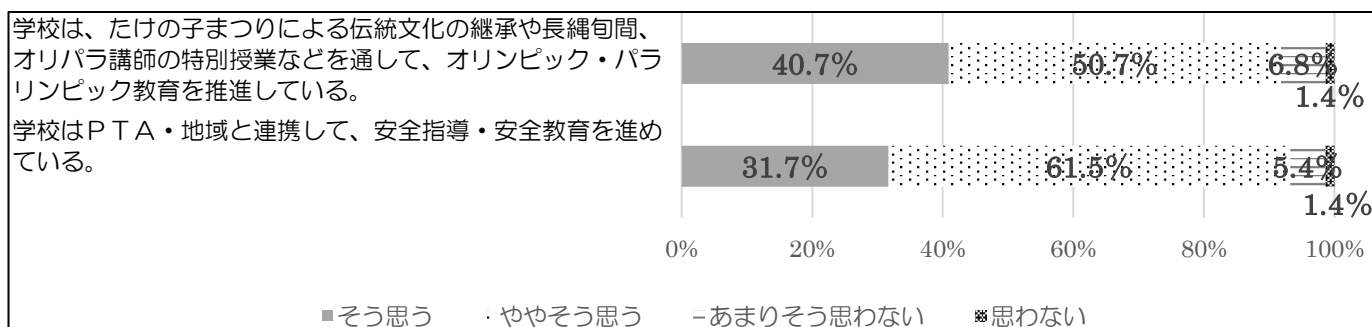
<主体的・対話的で深い学び>の項目では89.2%の方から肯定的な回答をいただきました。本校では、基礎的な事項を確実に身に付けさせるとともに、主体的・対話的で深い学びを通して、児童に思考力・判断力・表現力を身に付けさせるように授業改善を図ってまいりました。今後も引き続き、その努力を続けていきたいと考えています。

<教員の指導力向上>の項目では93.3%の方から肯定的な回答をいただきました。昨年度と比較すると1.3ポイント上昇しています。しかし、6.8%の方からは不十分であるという回答をいただいています。今年度から一人一台のタブレット端末を授業で活用しております。ICT機器などを教科学習で活用しながら、全ての子供たちが分かる楽しい授業が実現できるようにしています。今後も、「確かな学び」「魅力ある授業」を目指して、学習規律の徹底や、児童が相互によさを発揮し合い主体的に学び合う活動を推進していきたいと考えています。

<体験学習>の項目では95%の方に肯定的な回答をいただきました。昨年度同様、高ポイントを維持させていただいています。今年度は、新型コロナが収束傾向であったため、毎年恒例となっている竹の子まつりを通して、また地域の方々にゲストティーチャーとして来ていただき、子供たちの体験学習を充実させてきました。総合的な学習の時間には、地域の自然環境を生かした題材も多く取り入れています。来年度も、新型コロナ感染症対策を徹底しつつ、地域人材や自然環境を活用した体験学習の充実を図っていかうと考えています。

<学校図書館の活用>この項目では83.7%の方に肯定的な回答をいただきました。昨年度と比較すると1.7ポイントほど上昇していますが、15.9%の方からは不十分であるという回答をいただいている、まだまだ学校図書館の積極的な活用が充実しているとは言えない状況です。今年度は年2回の読書旬間、朝読書、読み聞かせや読書感想文コンクール前には学校図書による課題図書ブックトークなど、様々な取組を行ってまいりましたが、その甲斐もあり、読書感想文コンクールでは、今年も本校から3名もの児童が東久留米市代表に選ばれました。来年度も児童に豊かな言語感覚を育むために、工夫を重ねていきたいと考えています。ご家庭でのご協力もお願い致します。

<体力向上・安全教育>



2項目の平均では、92.3%の方から肯定的な回答をいただきました。

<オリンピック・パラリンピック教育>の項目では91.4%の方から肯定的な回答をいただきましたが、昨年度と比較すると22.4ポイント上昇しています。本年度は新型コロナウィルス感染防止のために、予定していたオリンピック・パラリンピックの見学が中止になり、子供たちに実際の競技を見ることができませんでした。しかしオリパラ教育の考え方にある4つのテーマの中に「スポーツ」と「文化」があり、スポーツでは3学期には、ギネス記録保持者等の本物のアスリートを招待して、その生き様や技能の高さに直接触れる機会を設けております。文化では「竹の子まつり」による地域の伝統文化の継承などの取り組みを今後とも継続的に進めていきます。

<安全教育>の項目では93.2%の方から肯定的な回答をいただきました。昨年度と比較すると1.2ポイント上昇しています。本校では、PTA・地域の方々と連携しながら子供たちの安全を守る取り組みを行ってまいりました。今後

も連携を図りながら、子供たちの安全を守る取り組みをさらに進めていきます。

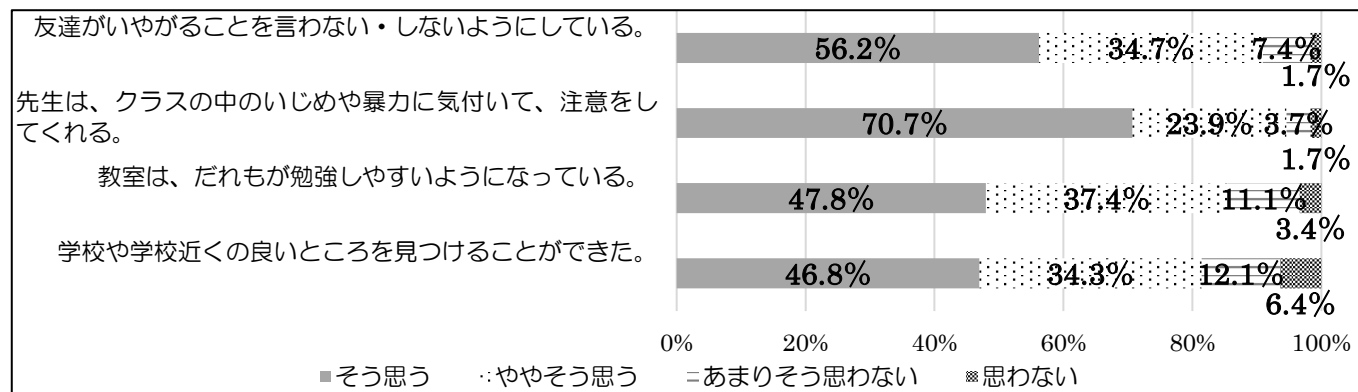
<自由記述より>

- いつも子供達に寄り添って頂き、温かな関わりをありがとうございます。
- コロナで大変な中、1人1人の個性を大切に、いつも丁寧に対応していただき、本当に感謝しています。
- 1年生の時よりお世話になっており、毎年担任の先生は変わられますが、どの先生も子供の関心や理解度にそった教育的支援を一貫してすすめて下さっております。今年度におきましては、子供の得意とすることを面談でいち早くお伝え下さり、それを踏まえた対応を家庭でもすすめることができ、感謝の思いでいっぱいです。
- 子供、保護者が楽しみにしている運動会、学習発表会が行えなかったのは残念でしたが、最後に保護者会の前に運動会での表現を見られたのはよかったです。楽しそうにみんなで表現する姿はとても成長を感じました。ありがとうございます。
 - ・励みになるお言葉ありがとうございます。保護者の皆様の信頼におこたえできるように、今後とも努力してまいります。
- 名前を記入するアンケートは本音を書けない保護者もいるのではないのでしょうか。学校評価の真実を知りたいのであれば名前は記入するべきではないと思います。
 - ・回答内容によっては、記入したご本人に早急にお返事することもありますので、できるかぎり記入をお願いしたいと思っています。ご協力お願いいたします。
- 学校公開も少なくなってしまう実際のところわからないというのが本音です。
 - ・学校、学年、研推だよりや保護者会などにより、できるかぎり学校での様子をお伝えしていきたいと思っていますが、お伝えしきれないところもありますので、分かる範囲内での回答をよろしくお願いいたします。
- いつもお世話とご指導していただきありがとうございます。これからは暴力などがない安全に通える学校にして欲しいです。
 - ・子供同士のトラブルなどで、手が出てしまうこともあります。「やったらやり返す」など学校では暴力や力で解決をしてはいけないという指導を継続的にしています。そうした考え方を、学校だけでなく、ご家庭でもお話をさせていただくとありがたいです。
- PTAは任意加入のはずですが、十小は強制的に加入する今の現状を改善して欲しいです。働く親にとって負担でしかありません。
 - ・PTAにご協力いただき、ありがとうございます。PTAのあり方については、前年度の役員の方を中心に十分話し合いながらよりよい方向性を探ってきています。今後も継続していきますので一緒に考えていただければと思います。
- 先生によってやり方や子どもへの関わり方がちがうように思うので、おおまかに同じ方に向いてもらえると良いです。
 - ・それぞれの教員の個性は違って、生活指導や学習指導において、基本的な指導における共通認識をもって教育活動を進めていきたいと考えております。ご指摘を受け止め再確認してまいります。
- 保護者会時、児童の預かりや校庭開放してもらえると助かります。他の区や市では校庭開放や、ボランティアを集めて預かりをしている所もあります。自宅での（留守番）火災や、不審者等、子供の安全のため、必要かと思えます。
 - ・児童の安全の対応、市やPTAとも相談し、検討していきたいと思えます。

—令和3年度学校評価児童アンケート結果—（回収率100%）

児童アンケートは、保護者アンケートと同じ内容の10項目で行いました。それぞれのアンケート項目の文章は、児童に分かりやすい言葉で表現しています。

<健全育成>



4項目の平均では、88%の児童が肯定的な回答をしました。

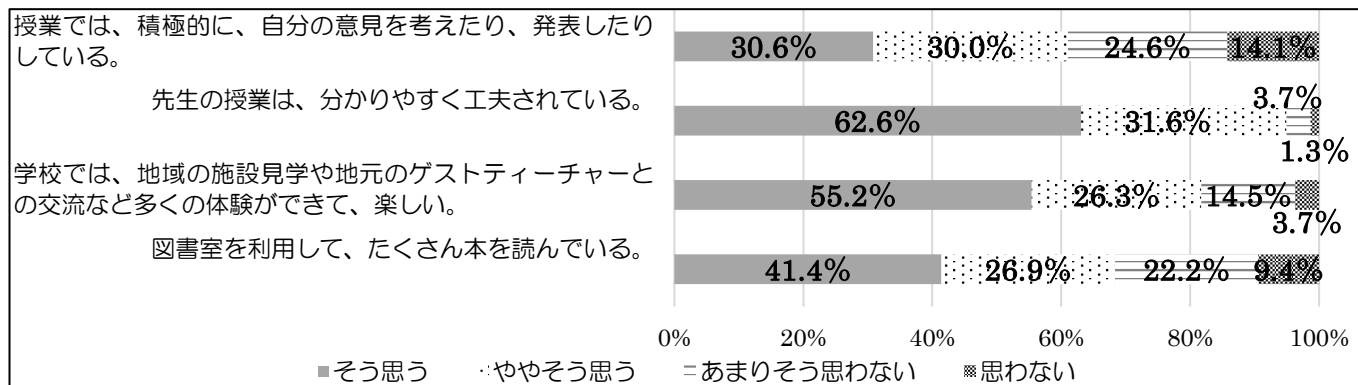
<友達へのおもいやり>の項目では、90.9%の児童が肯定的な回答をしました。昨年度と比較すると7.2ポイント上昇しています。本校では、ふれあい月間の全校朝会で校長が人権についての講話をしたり、人権集会で各クラスで考えた標語を発表し合ったり、様々な取り組みを行ってきました。日々の学校生活においても、教員自らがていねいな言葉で話したり、児童に言葉の大切さを考えさせたりしています。これからも全教育活動を通して、児童の思いやりの気持ちを育てていきたいと考えています。

<いじめや暴力のないクラス>の項目では、94.6%の児童が肯定的な回答をしました。昨年度と比較すると2.6ポイント上がっています。これからも教員が子供たちの日々の様子を丁寧に見とりながら必要な声掛けや指導を続けていきます。

<勉強しやすい教室>の項目では、85.2%の児童が肯定的な回答をしました。14.5%の児童は不十分であるという回答をしています。本校ではユニバーサルデザインの視点をもった授業に力を入れ、「子供たちの集中がとぎれないように、教室の前面はできるだけすっきりする。」「視覚的に分かりやすい教材を準備する。」等、環境整備に力を入れています。これからも様々な工夫を取り入れ、「どの子も勉強がよく分かる」教室環境を目指していきます。

<学校や地域の良さ>の項目では、81.1%の児童が肯定的な回答をしました。創立50周年記念に向けて、道徳や生活科・総合的な学習の時間などの教育活動を通して、学校や地域の良さを理解できるような取り組みをしています。生活科・総合的な学習の時間では、学校の外に出て体験的な活動をしたり、地域のゲストティーチャーを招き学習をしたりしています。今後とも、継続して学校や地域について体験的に学ぶ機会を設けていきます。

<学力向上>



4項目の平均では、76.2%の児童が肯定的な回答をしました。

<授業中の意見の発表>の項目では、肯定的な回答をした児童は60.6%で、38.7%の児童は「積極的に自分の意見を発表しているとは言えない。」と考えています。授業の中で自分の意見を発表するためには、まず「自分の意見をもつ」ことができなければいけません。そのために教員は、「まず意見をノートに書かせる。」「友達と一緒に考える時間をとる。」等、様々な工夫をしています。また、話し合い活動による学びの楽しさを味わわせて、協同的な学びの場を

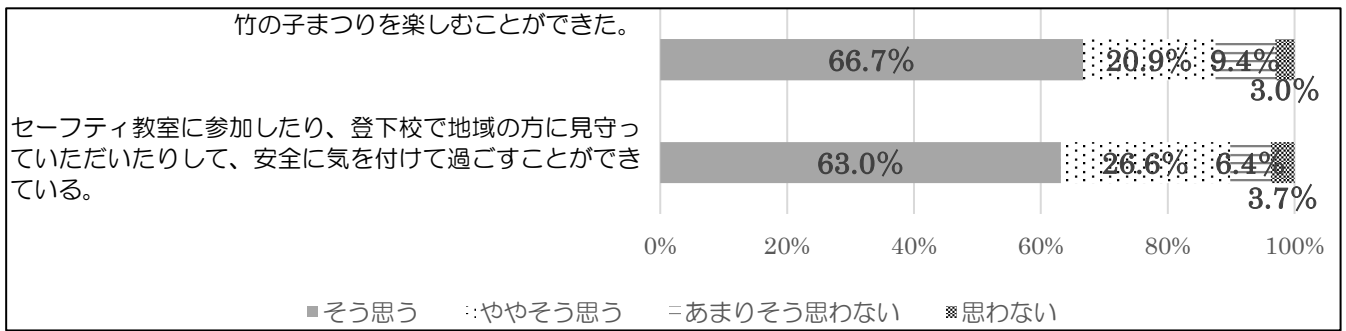
つくっていきたいと考えています。アンケート結果からは、十分とは言えないということが分かります。今後もさらに児童が意見を発表できるような手立てを考えていきます。

＜授業の分かりやすさ＞の項目では、肯定的な回答をした児童は94.2%で、昨年度同様、高ポイントを維持させていただいています。今年、校内での研究を国語科に定めて、特に文学教材の読み取りに力を入れて指導を重ねてきました。＜授業中の意見の発表＞の項目と合わせて考えると、児童は「先生の授業はよく分かるけれど、自分の意見を発表するのは自信がもてない。」と感じていると考えられます。今後も「分かりやすい授業」を実践しながら、授業内容をしっかり理解して自分の意見をもてる児童を育てる手立てを考えていきます。

＜体験活動＞の項目では、肯定的な回答をした児童は81.5%でした。今年度は2学期以降、新型コロナウイルス感染症が収束してきたため、校外学習やゲストティーチャーの授業を行い、そこから多くのことを学んでいることが分かります。今年度までの実績を踏まえ、来年度以降も児童が様々な体験をできる学習活動を計画していく予定です。

＜学校図書館の利用＞の項目では、68.3%の児童が肯定的な回答をしましたが、31.6%の児童は「学校図書館を利用してたくさん本を読んでいるとは言えない。」と考えています。本校では、週1回程度の朝読書の時間、年2回の読書旬間を設定して、本に親しむ機会を設けています。今年度行ってきた図書委員会による、全校集会での本の紹介や休み時間の読み聞かせなどの取り組みをしてきました。今後も児童が本に親しむための手立てをさらに充実させていきたいと考えています。

＜体力向上・安全教育＞



2項目の平均では、88.6%の児童が肯定的な回答をしました。

＜竹の子まつり＞の項目では87.6%の児童が肯定的な回答をしています。竹の子まつりは、十小の伝統的な行事であり、オリンピック・パラリンピック教育の考え方にある4つのテーマの一つ「文化」の活動としても位置付けています。次年度は学校創立50周年の節目の年です。今後もお囃子や竹とんぼづくりなど、地域のゲストティーチャーを招き、十小の伝統的な行事を特色ある教育活動として、今後も継続的に取り組みをしていきます。

＜安全教育＞の項目では89.6%の児童が肯定的な回答をしています。学校生活では、「廊下を走っていて、危ないことがある。」、放課後は、「自転車の乗り方」や、「交通事故を起こす危険ある行動がある」など、児童の安全意識をさらに高めていく必要があります。今後もPTA・地域の方々と連携しながら、子供たちの安全を守る取り組みをさらに進めていきます。